（速報版）１２月学校評価アンケートデータから、

本校教育活動の進捗状況と傾向を読み取る

評価総括表の項目に準じた概要を抜粋
※今回評価は１２月アンケート実施、中間評価は７月上旬アンケート実施、設問にA、Bと回答した割合を肯定とする。
（A:あてはまる　B:ややあてはまる　C:ややあてはまらない　D:あてはまらない）

青字　△目標値を達成した
黒字　▼目標値に達しなかった

１　学力の向上（授業改善・思考力、判断力、表現力の育成・学習意欲の向上）

▼授業がわかりやすく楽しい　　目標値８０%以上　今回６８．３　中間６９．７

△スマホ、携帯所持率を減少させること　比較目標：２０%以下の所持率
市内所持率７９．５　生徒回答４３．７　保護者回答３９．８

▼積極的に発表しようとしている　目標値７０%　今回６３．６　中間７０．８
※但し3年生は78.3　連日放課後の補習室設置に成果
学習についてわからないことがあれば先生に質問できる　今回６１．１
※3年生は72.3　（同　上）

△研究実践推進校としての視察訪問を受けたことは成果を認識することとなった。
△本校から教員チームを継続して先進校派遣する。H23小野市立小野中学校、H24刈谷市立富士松中学校、H25福井市光陽中学校、H26富山市立速星中学校、次回はH27浜松市立北部中学校を計画している。

２　豊かな心・健やかな体（自尊感情の育成・体力の向上）

△自分を大切にすること、思いやる行動（セルフエスティーム）
目標値：生徒　昨年値７４．７%以上　今回８２．４　中間８２．６
保護者　今回８３．３　中間８４．９
▼言葉遣い、ふるまいに成長を感じる　目標値８０　今回７６．６
△健康管理　ほけんだより発信　生徒　今回９１．３　保護者 今回９７．０

△全国体力・運動能力テスト（中学２年男女）の結果、本校は全国都道府県別トップレベルの体力合計点を示している。（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ）

Q-U活用について数値的には想定した成果とはならなかった。

※データは読み取り方や切り口を変えて考察する必要もある。
一例を挙げると「学校へ行くのが楽しい」と良好な解答は８５．９%だったが、あてはらないと回答した生徒は5.4%になる。概算28名の生徒が否定しているのである。

３　開かれ信頼される学校園（学校情報の積極的な発信等）

△情報発信（学年だより、ホームページ）している　９２．７
通信、連絡文書に目を通す　７８．６
△ホームページに時々アクセスする　目標値４０．０　今回４３．６　中間４５．０
△家庭、学校、地域の連携がある　今回８０．６　中間７７．０